

茨城県人口ビジョン [2060年 中・長期展望]

人口の将来展望

パターン①

出生率が国の長期ビジョンの水準まで上昇^{*}し、移動率が震災前の水準に回復。**2060年に「223万人」**程度。
※合計特殊出生率が、2030年に1.8、2040年に人口置換水準の2.07へ上昇。

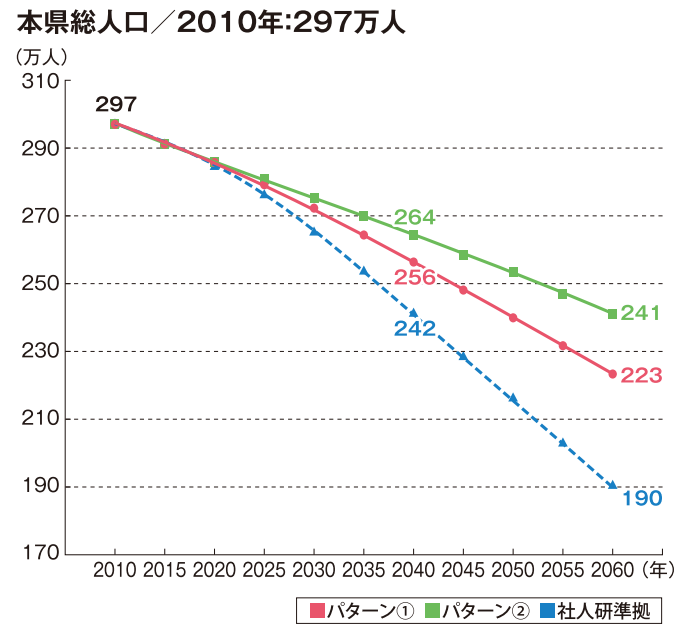
パターン②

さらに、移動率がUIターンや地元就職の希望を満たした水準まで上昇。**2060年に「241万人」**程度。

参考

社人研^{*}に準拠した推計。**2060年に「190万人」**程度。
 (2010年から107万人減少)

※国立社会保障・人口問題研究所



茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画期間 2015年度(平成27年度)～2019年度(平成31年度)の5年間

基本目標

1 本県における安定した雇用の創出

数値目標

- 雇用創出数 / 目標値(H27～H31累計) **10,000人**
- 若年者正規雇用者割合 / 現状値(H24)64.9% → 目標値(H31) **66.5%**
- 女性有業率(25～44歳) / 現状値(H24)70.3% → 目標値(H31) **73.0%**
- 工場立地件数 / 現状値(H22～H26平均)43件 → 目標値(H31) **50件(毎年同数)**
- 観光消費額 / 現状値(H26)2,260億円 → 目標値(H31) **2,593億円**

具体的な施策

1. 本県に集積した最先端科学技術等を活用した新産業・新事業の創出
2. 新たな時代を見据えた新産業・新事業の創出
3. ものづくり産業・地場産業・サービス産業の生産性向上等
4. 農林水産業の成長産業化
5. 魅力ある観光産業の振興
6. 企業等の国内外からの誘致の促進
7. 地域医療やまちづくりに必要な人材の育成・確保
8. 誰もが活躍できる雇用環境の整備



ロボットスーツHAL
Prof.Sankai/University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.



鹿島臨海工業地帯



国営ひたち海浜公園 みはらしの丘

基本目標

2 本県への新しいひとの流れをつくる

数値目標

- 人口の社会移動数 / 現状値(H22～H26)△20,569人
 → 目標値 H27～H31の5年間における転入転出者数を均衡
- 観光地点等入込客数(延べ人数) / 現状値(H26)5,075万人 → 目標値(H31) **5,700万人**

具体的な施策

1. 東京圏から本県への移住等の推進
2. 将来を担う人材の育成及び県内企業等への採用、就労の拡大
3. 郷土を愛するところの醸成
4. 国内外からひとを呼び込む新たな展開



つくばりんりんロード



竜神大吊り橋バンジージャンプ

基本目標

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

- いばらき出会いサポートセンター利用者等の成婚数 / 現状値(H26)1,366組
 → 目標値(H31) **2,500組**
- マリッジサポーター数 / 現状値(H26)841人
 → 目標値(H31) **1,100人**
- 保育所等の待機児童数 / 現状値(H26)227人
 → 目標値(H31) **0人**
- 合計特殊出生率 / 現状値(H26)1.43
 → 目標値(H31) 現状より増加

具体的な施策

1. 若い世代の経済的安定
2. 結婚支援の充実
3. 妊娠・出産・子育て支援の充実
4. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現



「いばらきKids Club」カード

基本目標

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標

- 地域公共交通網形成計画策定市町村数 / 現状値(H26)2町村
 → 目標値(H31) **37市町村**
- 立地適正化計画(コンパクトシティ実現に向けた計画)策定市町村数 / 現状値(H26) — 市町村
 → 目標値(H31) **5市町村**
- 教育・研修旅行参加者数 / 現状値(H26)4,348人
 → 目標値(H31) **5,000人**

具体的な施策

1. 人口減少下におけるまちづくり・地域連携の推進
2. 人口減少社会、超高齢社会における生活支援サービスの維持
3. 風評の払拭



教育・研修旅行の様子(農業体験)



シルバーリハビリ体操